



のぞみ 希 望

学校ホームページアドレス <http://www.edu.city.yokohama.jp/sch/es/sugita/> TEL771-0649

襷をつなぐ

学校長 村上 裕子



平成30年（2018年）、戌年がスタートしました！！
新年あけましておめでとうございます。保護者の皆様、地域の皆様におかれましては、よいお年をお迎えのことと存じます。

「一年の計は元旦にあり」と言われます。皆様のご家庭でも今年の抱負や目標をご一緒にたてられたのではないのでしょうか。旧年中は、本校の教育活動にご支援、ご協力を賜りますことがたくさんあり、誠にありがとうございました。本年も教職員一同、子どもたちの健やかな成長を願って、努めて参ります。どうぞよろしくお願い申し上げます。

1月2日・3日に、「第94回東京箱根間往復大学駅伝競走」がありました。お正月の恒例になっているので関心も高く、放送で視聴したり、沿道に応援に行ったりする方も多いかと思います。今年の箱根駅伝は青山学院大学の4連覇という偉業で幕を閉じました。数多くの大学がしのぎ合う中で、4連覇を達成したことは単に選手層が厚いだけではありません。原監督の采配もさることながら、今年は個の力を調和させる「ハーモニー大作戦」が功を奏しました。10区間、10名の選手たちが母校の襷をつなげようと全力で走る姿は感動を呼びます。突然立ち止まってはったり、快走して前走者との距離を縮めたり、それぞれの選手が走るたびにドラマが生まれます。どの選手も箱根を走るために、自分と向き合い、日々に努力しながら、最高の自分に仕上げているからこそのことだと思います。しかし、一本の襷をつなぐことはこの10名の選手だけでできることではありません。

優勝した青学大には「0区」というものがあるそうです。年末に登録メンバーからはずれた選手による記録会です。今年は箱根を走れなくても1～3年生は来年の箱根を見据えて、4年生は自己ベストを見据えて走ります。この記録会でもよいタイムで走る選手がたくさんいます。監督に言われたからではなく、自分でレースをつくる、自分の目標に向けて走る、そんな意識改革が大切なのだと思います。だから次に襷をつなげていけるのではないかと思います。箱根を走れることは名誉なことですが、たとえ走らなくてもチームのためにできることを懸命に実行している姿も印象に残りました。途中水を手渡したり、声をかけたり、選手の世話をしたり、チームの団結力を感じました。「がんばれ」「あと少し」と仲間から声をかけられた選手はたくさんの勇気をもらえたことなのでしょう。母校の襷をつなぐために、仲間のために最後まで全力で走り続けようと思うことなのでしょう。そういう一人ひとりの力が結集して今回の4連覇という結果になったのだと思います。

学校では子どもが主役です。年があけると、いよいよ後期も後半になります。子どもたちが学習面、生活面でよりよい学びができるように声をかけ、安心できる学習環境をつくれるように努めていきます。主役の子どもたちがいきいきと学び、次の学年へ、また中学校へと襷がつけられるようにして一日一日を積み重ねていきます。1月20日には「うきうき杉田っ子発表会」があります。これも、学級みんなで学びを創りあげてきた大きな成果ととらえています。一人ひとりのいままでの学びを見守ってください。多くの保護者の皆様、地域の皆様のご来校をお願いします。そして子どもたちを温かく励ましていただけたら幸いです。



ウきうき 楽しく
メあてにむかって
ニこにこ笑顔で
イあいさつ